

2021年11月8日

ミニラグビー／ジュニアラグビーの
コーチ、レフリーならびに関係者の皆様へ

(公財)日本ラグビーフットボール協会
普及育成委員会委員長 西機 真

ミニラグビー／ジュニアラグビーにおける
世界的試験実施ルールの実施及び、危険なプレー撲滅の徹底に向けて

日頃より、ラグビー競技の普及・発展にご尽力頂き、厚く御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの影響により、ラグビー活動をはじめ、多くのスポーツが活動の制限を受けている状況下ではありますが、我が国では小学生以下の幼児・児童（以下 U-12 年代）のプレーヤー数が増加しており、プレーヤーが安全にプレーできる環境整備は、U-12 /U-15 年代の競技人口一層の増大を図る上で喫緊の課題であります。

若いプレーヤーが「安全に」「適切な時期に」「段階的に」プレーできるように、指導者・レフリー・メディカルスタッフ・プレーヤー・保護者など、育成に関わる全ての関係者が一丸となり、安全なプレーについての正しい理解と、これを正しく行うための指導方法を共有しプレーヤーの安全確保を図る必要があります。

そうした中、先般、World Rugby より、ウェルフェア強化に重点を置いた世界的試験実施ルールについて通達が出されました。(公財)日本ラグビーフットボール協会では、ミニラグビー／ジュニアラグビーにおいても世界的試験実施ルールを全て適用し、今後、年代別に応じたプレーヤーの安全確保に向けた検証を行った上で、競技規則の改訂を検討することにいたしました。

つきましては、世界的試験実施ルールの内容とねらいを確認して頂くと共に、プレーヤーがラグビーを楽しみ、保護者が安心して我が子にラグビーをさせようと思える環境作りを推進すべく、危険なプレー撲滅の徹底に向けた取り組みへのご理解ご協力をよろしく願います。

③ フライングウェッジ

フライングウェッジの定義を見直し、3名があらかじめバインドしているミニスクラムに対して制裁を科す。

(ねらい) ボールキャリアーと複数のサポートプレーヤーがコンタクトの前から接した状態(ラッチング)となる頻度を減らし、タックラーに相手プレーヤー3名分の力がかかってしまうのを防ぐこと。

④ 単独のプレーヤーによるプレラッチ

コンタクトの前に1名だけプレラッチングすることを認めるが、そのプレーヤーはファーストライビングプレーヤーの要件のすべて(特に立ったままであること)に従わなければならない。

(ねらい) 単独のプレラッチングプレーヤーのマネジメントにより一貫性を持たせること。

⑤ クリーンアウト/ジャッカラーの安全

下肢を狙った、または、下肢に衝撃を与えるようなクリーンアウトに制裁を科す。

(ねらい) クリーンアウトされるプレーヤーの負傷のリスクを軽減すること

※なお、U15/U12のプレーヤーが、ジャッカルを試みることの是非について引き続き検討する。地上にあるボールを獲得する行為として頭が一時的に下がることは反則としないが、継続的に頭を下げたままボールにプレーすることは危険であると考え。ただし、相手とのコンタクトが起きる前に、ボールを獲得できない場合には、地上でボールを保持していたプレーヤー(ボールキャリア)に何らかの反則行為があるとして直ちに笛を吹くべきである。

<危険なプレー撲滅の徹底に向けて>

○改めてルールブックを熟読・理解すること

ルールブックとは『U-12 ミニラグビー競技規則』『U-15 ジュニアラグビー競技規則』だけでなく、ワールドラグビーが定める『競技規則』及び日本協会制定『19 歳未満高専・高校以下用競技規則』も含みます。例えば、U-12(12 歳以下)の試合に適用する『U-12 ミニラグビーの競技規則』は、ワールドラグビーが定める『競技規則』及び日本協会制定『19 歳未満高専・高校以下用競技規則』『U-15 ジュニアラグビー競技規則』に準拠して定められています。従って『U12 ミニラグビー競技規則』に記載がない事項でも上記競技規則に規定されていればこれに従います。

○頭部、頸部負傷の撲滅に向けて

世界的試験実施ルールにおいても、安全面への配慮が強くなされていますが、近年、試合中に頭部、頸部負傷を誘発しかねないプレーが散見されます。それらの中で特に危険な行為を『別表1』に整理しましたので、参照の上、それぞれの立場から危険な行為の撲滅に努めていただきただきたくお願いいたします。

○プレーヤーの特性を理解すること

ミニラグビー・ジュニアラグビー年代のプレーヤーは心身の発達途上にあります。大きな体格のプレーヤーであっても骨や筋肉、内臓や神経は大人とは異なり、同じ学年であっても発達には個人差があるので全ての児童が常に同じ能力を有しているとは限りません。さらに、幼児、児童は自身の体調不良や怪我の症状をうまく説明できないという特性もあります。指導に当たってはプレーヤーの身体的、神経的、精神的特性を十分理解した上で指導計画や大会運営を立案、実行するようにお願いいたします。

○コーチおよびレフリーの資格取得の推奨

2020 年度より JRFU 公認スタートコーチおよびスタートレフリーの資格をオンライン講座で取得できるようになりました。ミニラグビー／ジュニアラグビーの指導に関わる全ての方々に、スタートコーチおよびスタートレフリーの資格を積極的に取得いただけますようお願いいたします。